
第5章 基本計画

第1節 基本計画図

前章までの検討をもとに作成した基本計画図を次頁に示します。



平面図

図 5-1 基本計画図

第2節 公園内に配置する施設の機能と規模

再整備に伴い、新たに導入する機能等についての検討結果を示します。

※本節は現時点における検討結果であり、今後具体的な設計を進めるにあたり変更となる可能性があります。

(1) 導入機能の整理

現状や地域からの要望を踏まえ、再整備後における導入機能と再整備方針を以下に示します。

表 5-1 導入機能一覧表

分類	整備方針	施設名	具体施設名	再整備方針
既存スポーツ施設利用者の利便性向上	既存改修	多目的グラウンド（人工芝）	レイアウト	再整備済
			サーフェス	再整備済
			防球フェンス	再整備済
			ベンチ	再整備済
			照明	再整備済でない灯具の交換
			観客スタンド	法面スタンド
			多目的グラウンド横倉庫	現状の別所運動公園競技場にある倉庫と同等の寸法の倉庫
		サッカー場（天然芝）	レイアウト	現状維持
			サーフェス	現状維持
			防球フェンス	改修
			ベンチ	再整備
			照明	整備対象外（夜間利用を想定しない）
			サッカー場横倉庫	現在トイレ横にある倉庫と同等の寸法の倉庫
		多目的グラウンドABCD	レイアウト	拡張整備
	サーフェス		表土入れ替え	
	バグフェンス		改修	
	ダグアウト		改修	
	照明		整備対象外（夜間利用を想定しない）	
	多目的グラウンドABCD横倉庫		現状の別所運動公園競技場にある倉庫と同等の寸法の倉庫	
	クラブハウス		管理事務所	同時滞在3名程度
会議室		30名程度利用可		
シャワールーム		男女3～5ブース		
トイレ		男・女・多目的		
新設	ウォーミングアップ広場	サッカー用	天然芝	
	多目的グラウンド付近のトイレ	野球・ソフトボール用	表土入れ替え、ゴムチップ舗装	
憩い・交流の場の創出	既存改修	駐車場	駐車場	350台程度＋車寄せスペース
		照明		入り口を中心に最低限設置
	新設	地域の憩いの空間	遊具	児童・幼児・インクルーシブ
			休憩施設	四阿・ベンチ等
新たなスポーツニーズへの対応	新設	ウォーキング・ランニングコース	コース	ゴムチップ舗装・路面標示
		健康遊具	健康遊具	5基程度
	他施設と兼用（検討事項）	ニューススポーツ活動の空間	スケートパーク	駐車場兼用
			3on3コート	駐車場兼用
			バタンクコート	ウォーミングアップ広場兼用

(2) 必要規模・具体的整備内容の整理

1) 観客スタンド

250名程度が同時観戦可能な屋根付きの観客スタンドを多目的グラウンド（人工芝）に整備します。

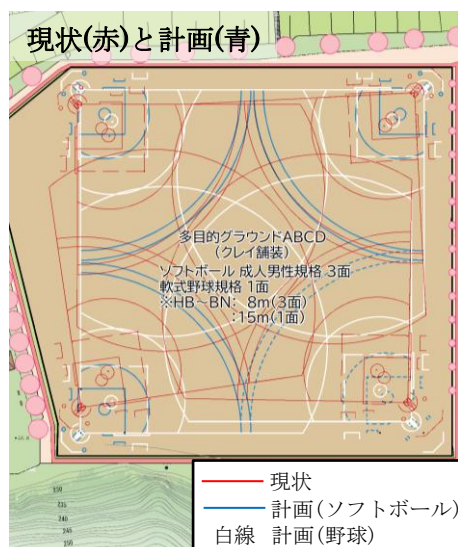
また、敷地内の高低差を活かしたスタンド整備を目指し、既存法面の活用を検討します。

2) サッカー場（天然芝）防球ネット

サッカー場（天然芝）は既存防球ネットの劣化が著しいことから、全面改修とします。また、グラウンド西側及び北側は、崖地状の法面となっていることから、利用者の安全性へ配慮し西側及び北側の防球ネットを高くします。

3) 多目的グラウンド ABCD

多目的グラウンド ABCD については、現状競技エリアとバックネットの離隔が十分に取れていないことや、グラウンド面によって規格・付帯設備等が異なることから、形状を見直すことにより、同一規格の軟式野球場（社会人）1面・ソフトボール場3面が確保できるように拡張します。



【現状】

軟式野球場（社会人）4面を確保する場合、以下の面に規格差が生じています。

- ・ホームベースとバックネットの離隔
- ・バックネットの仕様
- ・ベンチの有無
- ・外野の広さ など



【計画】

グラウンド形状を見直すことで、軟式野球場（社会人）1面・ソフトボール場を同一規格で3面用意します。

図 5-2 多目的グラウンド ABCD コート規格

4) 建築物

計画地において、スポーツ施設利用者とその他利用者の両方の利便性を高めるため、中央園路の東側にクラブハウスを設置し、加えて、多目的グラウンド（人工芝）付近にトイレ、多目的グラウンド（人工芝）・サッカー場（天然芝）・多目的グラウンド ABCD 付近にそれぞれ倉庫を設置することを検討します。

表 5-2 各施設の検討規模

施設名	室名	必要規模	備考
クラブハウス	管理・事務室	16.40 m ²	
	会議室	63.00 m ²	
	トイレ	17.86 m ²	
	更衣室・シャワールーム	42.60 m ²	
	その他（エントランス・通路等）	41.96 m ²	上記諸室の 30%
	クラブハウス合計	181.82 m ²	
多目的グラウンド（人工芝）付近のトイレ		6.79 m ²	
クラブハウス横倉庫		18.00 m ²	
多目的グラウンド ABCD 横倉庫		12.10 m ²	
多目的グラウンド（人工芝）横倉庫		12.10 m ²	



図 5-3 各施設の位置図

a) クラブハウス

① 施設の構成及び規模

クラブハウスは、これまでの利用状況、利用者からの要望等を勘案し、以下の諸室を設定することとします。

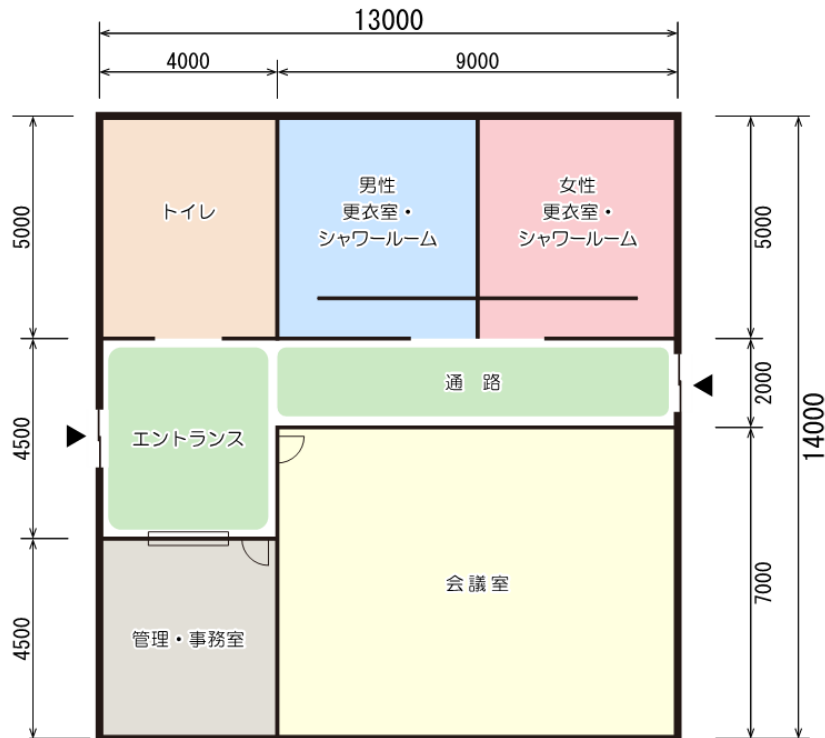


図 5-4 クラブハウス想定レイアウト

② 管理・事務室

管理・事務室について、「新営一般庁舎面積算定基準（国土交通省）」より必要となる規模を算出しました。

○想定人数から事務室と湯沸室の総面積を算出

- ・ 想定人数：3人
- ・ 事務室： $3.30 \text{ m}^2 \times \text{換算人員}$ （「新営一般庁舎面積算定基準」参照）
→ $3.30 \text{ m}^2 \times 3 = 9.90 \text{ m}^2$
- ・ 湯沸室： $6.50 \text{ m}^2 \sim 130 \text{ m}^2$ （「新営一般庁舎面積算定基準」参照）
→最低値： 6.50 m^2
- ・ 事務室＋湯沸室＝ $9.90 + 6.50 = \mathbf{16.40 \text{ m}^2}$

③ 会議室

会議室について、周辺会議室等の利用状況も考慮し、必要となる規模を算出しました。

○想定人数から会議室の面積を算出

- ・想定人数：30人（周辺施設会議室収容人数、スポーツチームの全員利用を考慮）
- ・人数19人～32人当たり：**63.00 m²**（図 5-5 参照）

【参考：周辺施設会議室収容人数】

- ・影森公民館会議室：30人
- ・秩父市女性福祉会館
 - 第4会議室：30人
 - 第5会議室：24人
 - 第6会議室：30人
 - 第7会議室：40人
- ・秩父宮記念市民会館会議室1、2：36人

【参考：会議室の面積】

人数 テーブル 形状	2～8	9～18	19～32
	 20m ²	 42m ²	 73m ²
	 20m ²	 45m ²	 64m ²
	 23m ²	 40m ²	 77m ²
	 34m ²	 45m ²	 86m ²
	 38m ²	 46m ²	 63m ²

出典：コンパクト建築設計資料集成 p.60（日本建築学会）

図 5-5 会議室の面積

④ トイレ

クラブハウス内トイレについて、トイレを整備する要望が多いこと、大会等の実施時にトイレに行列ができることなどを踏まえ、サッカー場（天然芝）と多目的グラウンド ABCD が同時利用されている場合を想定し、現状の倍程度のトイレの穴数を確保します。

【サッカー場(天然芝)と多目的グラウンド ABCD が同時利用されている場合】

・ 1 チーム 20 人×8 チーム

(ソフトボール 6 チーム+サッカー2 チーム)

= 計画地面積の想定同時利用者数：160 人

表 5-3 クラブハウス内トイレの整備穴数と現状穴数

便所名称	整備穴数	現状穴数
男性用大便所	2 穴	1 穴
男性用小便所	4 穴	2 穴
女性用便所	4 穴	2 穴
多目的トイレ	1 穴	1 穴

【必要穴数】（男性：60%、女性：40%の利用者数を想定）

・ 男性用大便所 = $160 \times 0.6 \times 1/60 = 1.60 \rightarrow$ **2 穴**

・ 男性用小便所 = $160 \times 0.6 \times 1/30 = 3.20 \rightarrow$ **4 穴**

・ 女性用便所 = $160 \times 0.4 \times 1/20 = 3.20 \rightarrow$ **4 穴**

・ 多目的トイレ： **1 穴**

【必要面積】（図 5-6、図 5-7、図 5-8 参照）

・ 男性用大便所 = 幅 0.90m × 奥行き 1.55m = 1.40 m²

・ 男性用小便所 = 幅 0.90m + 0.20m × 奥行き 0.46m = 0.51 m²

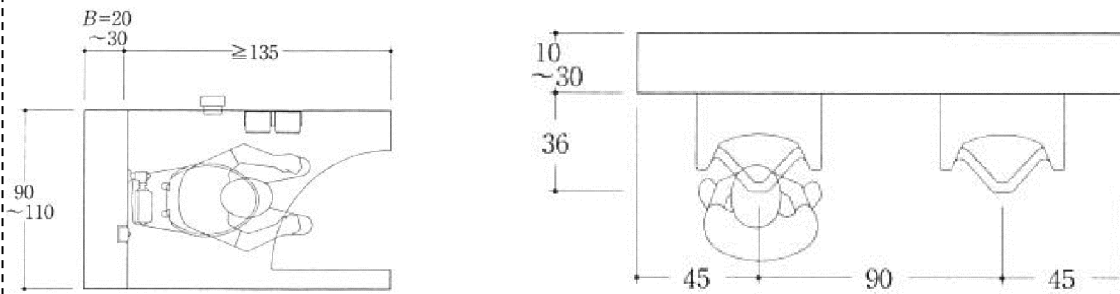
・ 女性用便所 = 幅 0.90m × 奥行き 1.55m = 1.40 m²

・ 多目的トイレ = 幅 1.50m × 奥行き 2.20m = 3.30 m²

・ 通路・器具庫・洗面等 = 上記面積の 30% = 4.12 m²

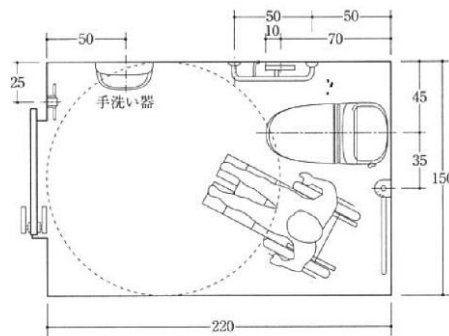
$1.40 \times 2 + 0.51 \times 4 + 1.40 \times 4 + 3.30 + 4.12 =$ **17.86 m²**

【参考：トイレの必要スペース】



出典：コンパクト建築設計資料集成 p.87（日本建築学会）

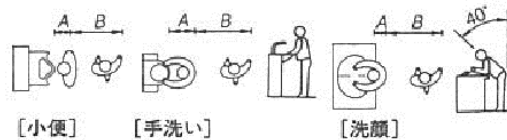
図 5-6 大便所・小便所寸法



出典：コンパクト建築設計資料集成 p.86（日本建築学会）

図 5-7 多目的トイレ寸法

	A (mm)	B (mm)	L=A+B (mm)
小便	A=200 ~300	①一人歩行の場合 B=600~900 人が歩行するための最低寸法 600~700 少し余裕のある寸法 900	L=800~1200 (②の場合 1600~1800)
手洗い	A=400 ~450	②二人相対歩行 C≥1400~1500	L=1000~1350 (②の場合 1800~1950)
洗顔	A=450 ~500	C 	L=1050~1400 (②の場合 1850~2000)



A：動作必要寸法（リップまたはリム先端より臀部）
B：通路必要寸法

出典：コンパクト建築設計資料集成 p.87（日本建築学会）

図 5-8 通路スペース寸法

⑤ 更衣室・シャワールーム

更衣室・シャワールームについて、男女4名程度同時利用可能とし、必要となる規模を算出しました。

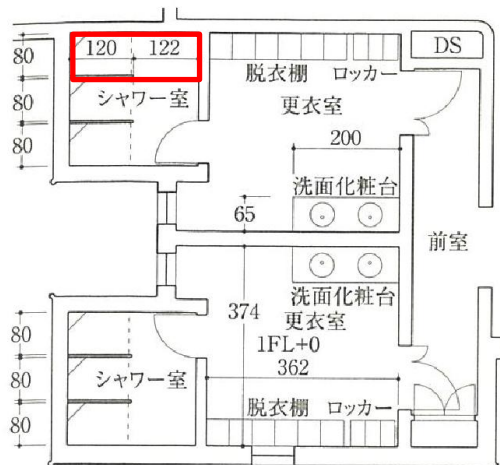
○想定人数から面積を算出

- ・想定人数：8人同時利用→男女各4人同時利用
- ・1人当たりのシャワー室面積：幅0.80m×奥行き2.42m=1.94 m² (図 5-9 参照)
- ・更衣室：幅3.74m×奥行き3.62m=13.54 m² (図 5-9 参照)

【必要面積】

$$1.94 \times 8 + 13.54 \times 2 = \mathbf{42.60 \text{ m}^2}$$

【参考：1ブースあたりのシャワールーム・更衣室の面積】



出典：コンパクト建築設計資料集成 p.93 (日本建築学会)

図 5-9 シャワー室を付加した更衣室

b) 多目的グラウンド（人工芝）付近のトイレ

多目的グラウンド（人工芝）が全面同時利用されている場合を想定し、現在管理棟横に設置されているトイレと同程度のトイレを整備します。

【多目的グラウンド（人工芝）が全面同時利用されている場合】

・ 1 チーム 20 人×4 チーム

（サッカー4 チーム）

= 計画地面積の想定同時利用者数：80 人

【必要穴数】（男性：60%、女性：40%の利用者数を想定）

・ 男性用大便所 = $80 \times 0.60 \times 1/60 = 0.80 \rightarrow$ **1 穴**

・ 男性用小便所 = $80 \times 0.60 \times 1/30 = 1.60 \rightarrow$ **2 穴**

・ 女性用便所 = $80 \times 0.40 \times 1/20 = 1.60 \rightarrow$ **2 穴**

・ 多目的トイレ：**0 穴**

【必要面積】（図 5-6、図 5-7、図 5-8 参照）

・ 男性用大便所 = 幅 0.90m × 奥行き 1.55m = 1.40 m²

・ 男性用小便所 = 幅 0.90m + 0.20m × 奥行き 0.46m = 0.51 m²

・ 女性用便所 = 幅 0.90m × 奥行き 1.55m = 1.40 m²

・ 通路・器具庫・洗面等 = 上記面積の 30% = 1.57 m²

$1.40 \times 1 + 0.51 \times 2 + 1.40 \times 2 + 1.57 =$ **6.79 m²**

c) 倉庫

倉庫について、サッカー場（天然芝）横、多目的グラウンド（人工芝）横、多目的グラウンド ABCD 横に倉庫の設置を検討します。

① サッカー場（天然芝）横倉庫

倉庫について、現在トイレ横にある倉庫と同等の寸法の倉庫をクラブハウス横に設置することを検討します。

【現状のトイレ横にある倉庫の寸法】

幅：6.00m×奥行き：3.00m=**18.00 m²**



図 5-10 現状のトイレ横の倉庫

② 多目的グラウンド（人工芝）横、多目的グラウンド ABCD 横倉庫

スポーツ施設利用団体からのご意見を踏まえ、現在別所運動公園競技場にある倉庫と同等の寸法の倉庫を多目的グラウンド ABCD 横に設置することを検討します。また、多目的グラウンド（人工芝）横にも同等の寸法の倉庫を設置することを検討します。

【現在の別所運動公園競技場にある倉庫の寸法】

幅：4.10m×奥行き：3.00m=**12.10 m²**

5) 駐車場

計画地では立地特性より多くの方が自動車で来訪することが想定され、アンケート結果においても約 90%の方が自動車で来訪すると回答しています。本計画においては、スポーツ大会等の状況においても余裕を持った駐車スペースを確保できるよう自動車分担率を 100%として計画します。

大会等イベント時においても不足のない駐車台数を確保する必要があり、計画地において年間で最も人が集まるイベントの参加実績を踏まえ、駐車台数を算出しました。

【イベント時における想定最大同時利用者数】

- ・ 計画地面積の想定同時利用者数：700 人

自動車分担率は 100%のため、自動車一台当たりの平均乗車人数を 2 名とした場合、 $700 \div 2 = 350$ 台となることから、影森グラウンドにおいては 350 台以上の駐車スペースを確保します。

6) 遊具

アンケートにおいて子どもが遊べる遊具と健康遊具の要望が多いことから、遊具の整備を検討します。

子どもが遊べる遊具は、子どもの安全性に配慮し、児童用と幼児用のエリアを分けるほか、インクルーシブ遊具の導入など、より多くの子どもが快適かつ安全に遊べるよう検討します。

健康遊具は、ストレッチや筋力トレーニング等ができる遊具等大人が利用できるよう検討します。

【遊具】

- ・ 幼児用遊具
幼児が安全に遊ぶことのできる遊具（対象年齢：1～3歳、3～6歳）
- ・ 児童用遊具
小学生が安全に遊ぶことのできる遊具（対象年齢：6～12歳）
- ・ インクルーシブ遊具
体に障がいがある子もない子も誰もが遊ぶことのできる遊具



株式会社 コトブキ HP をもとに作成

図 5-11 遊具イメージ

【大人が利用できる遊具】

- ・ 健康遊具
ストレッチや筋力トレーニング等の運動ができる健康維持・増進を目的とした大人向けの遊具



出典：株式会社 コトブキ HP

図 5-12 健康遊具イメージ

第3節 景観整備について

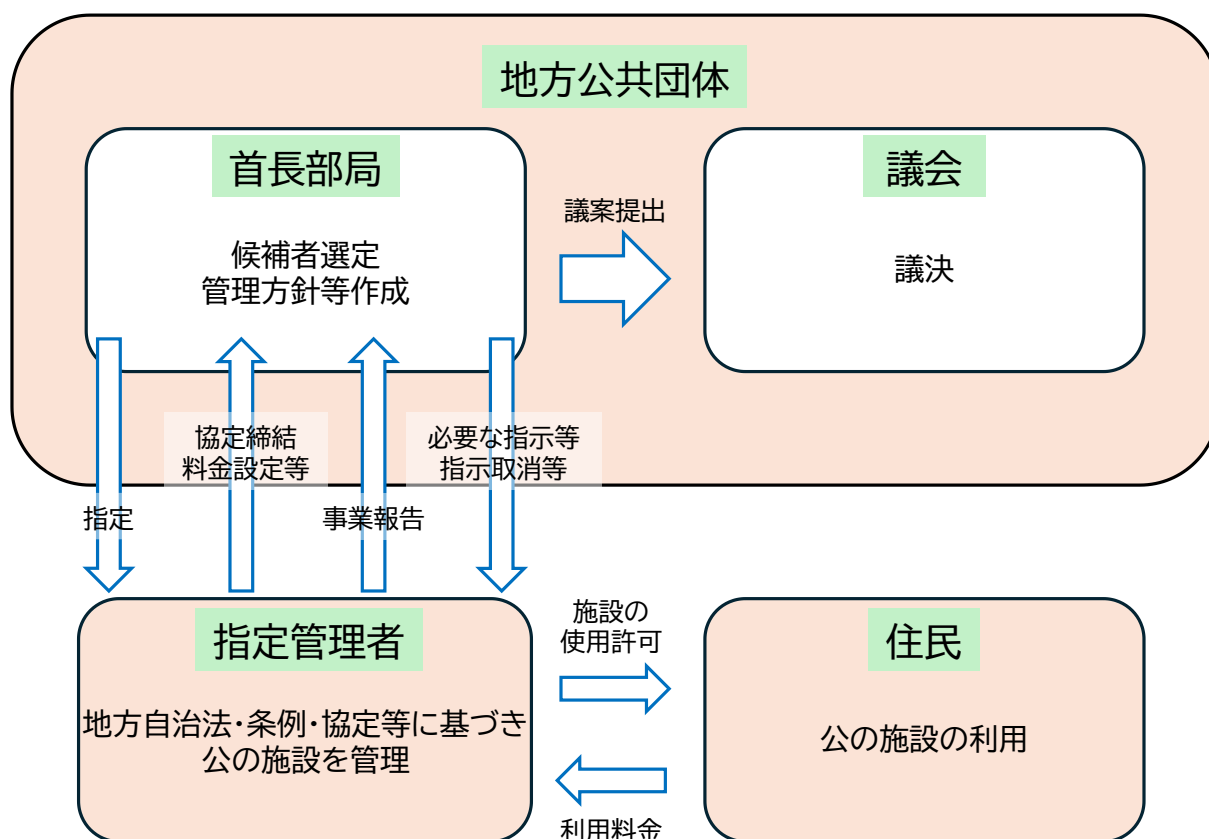
計画地の樹木は、荒川沿いを中心に桜並木が良好な景観を形成しています。そのため、既存樹木は、工事に支障のある樹木を除き、極力保全する方針とします。

また、多目的グラウンド ABCD とサッカー場（天然芝）の間には、武甲山をアイストップとする景観に配慮した歩行者用通路を確保し、ウォーキング・ランニングや散策の際に景観を楽しめるようにします。

第4節 管理・運営について

(1) 運営方法

計画地の運営方法について、地方自治体が指定する民間事業者が管理・運営を行う指定管理者制度を見据えて行うことを検討しています(図 5-13)。指定管理者制度を導入する目的として、民間事業者の活力を活用することによる住民サービスの向上、施設管理における費用対効果の向上、管理主体の選定手続きの透明化が挙げられます。



総務省 HP をもとに作成

図 5-13 指定管理者制度の仕組み

(2) 防犯対策

計画地は交通量のある主要道路から少し奥まった場所に位置することから、開門時間を現在と同様の 8 時から 21 時とし、夜間については閉門する閉鎖管理とすることで地域住民の方の安全を確保します。

第6章 今後の方向性

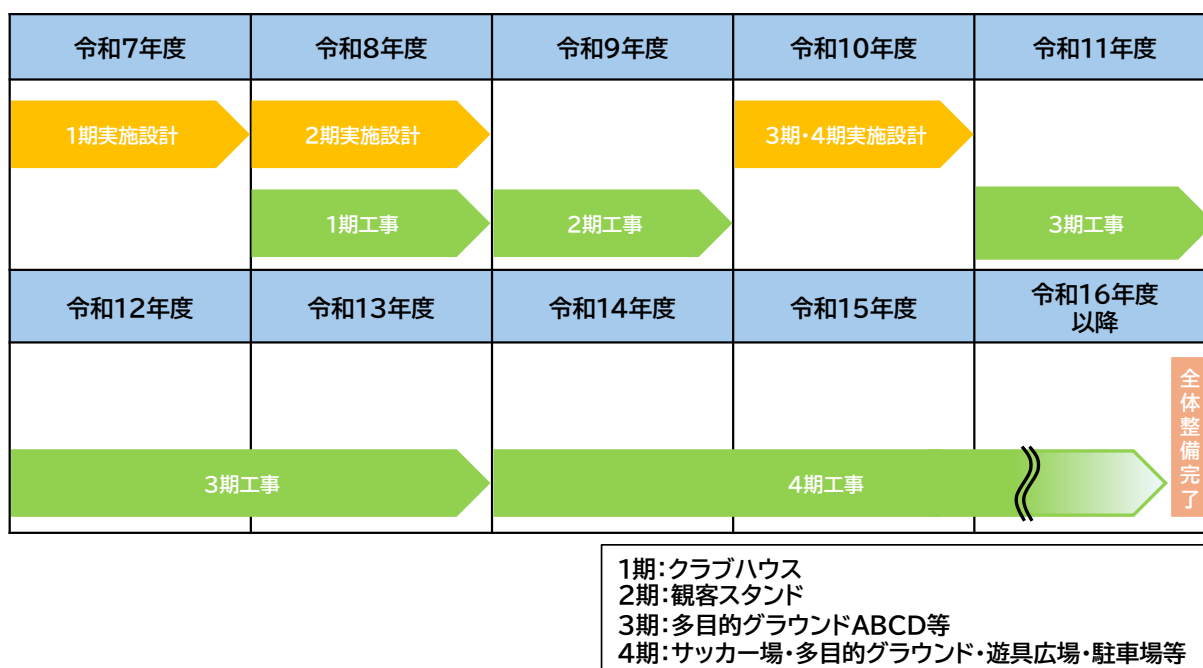
第1節 計画地の法的な位置づけの検討

計画地は現在スポーツグラウンドとして整備されていますが、改修後は遊具などの公園的要素をもつことから、計画地については公園として条例で指定することを検討します。

第2節 想定される整備スケジュール

既存トイレの改修が早急に求められていることから、令和7年度にクラブハウスの整備を先行的に進め、その後2期工事以降の工事を財政状況等も勘案しながら検討してまいります。

表 6-1 整備スケジュール（案）



※整備スケジュールは前後する可能性があります。